

分類番号				
保存期限	1・3・5・10・永			

様式第5号 (第5条関係)

議長	事務局長	事務局員
		
田 清	実 様	

令和8年3月31日

矢巾町議会議長 廣



会派名 不来方

代表者名 横 澤 駿



令和7年度政務活動費収支報告書

矢巾町議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項(第2項)の規定により、次のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入  
政務活動費 576,000円 ※内訳(人/16,000円×3名×12ヶ月分)

2 支出

項目	金額(円)	主たる支出の内容
調査研究費	275,711円	交通費、宿泊費等
研修費	45,990円	研修参加料、資料代等
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
事務費		
合計	321,701円	

3 残額 254,299円

備考 政務活動費支出明細書、調査研究等実施報告書、領収書等の写しを添付すること。

## 様式第7号（第6条関係）

政務活動費支出明細書（会派名＝ 不来方 ）

（調査研究費・2枚のうち1枚）

No.	支出年月日	件名	内容	金額（円）	備考
1	令和7年 6月30日	調査研究費	航空券、JR券、宿泊代、 タクシー代、手配料金、保 険料、振込手数料として 支払先(名鉄観光サービス 株式会社)	93,370円	北海道栗山 町、白老町 へ議会改革 の調査
2	令和7年 7月29日	調査研究費	JR東日本、高速バス、ジ ャンボタクシー、保険料と して 支払先(名鉄観光サービス 株式会社)	92,050円	
3	令和7年 8月4日	調査研究費	山形市南部コパル視察代 として 支払先(特定非営利活動法 人スポーツ振興会管理者)	11,000円	山形県、福 島県へ
4	令和7年 8月4日	調査研究費	寒河江市・学びの里たしろ 視察代として 支払先(特定非営利活動法 人葉山の里たしろ理事長)	2,000円	デジタル田 園都市国家 構想および 第三セクタ ーの調査
5	令和7年 8月5日	調査研究費	タクシー代として 支払先(山交ハイヤー株式 会社)	1,210円	
6	令和7年 8月5日	調査研究費	ジャンボタクシー代とし て 支払先(東部自動車合資会 社)	3,680円	
7	令和8年 1月20日	調査研究費	高速料金として	2,630円	
8	令和8年 1月20日	調査研究費	宿泊費として 宿泊先(石巻グランドホテ ル)	30,321円	石巻市へ 人材育成、 カーシェア の調査
9	令和8年 1月20日	調査研究費	宿泊税として 支払先(石巻グランドホテ ル)	900円	

様式第7号（第6条関係）

政務活動費支出明細書（会派名＝ 不来方 ）

（調査研究費・2枚のうち2枚）

No.	支出年月日	件名	内容	金額（円）	備考
10	令和8年 1月20日	調査研究費	視察費として 支払先(株式会社イトナブ)	22,000円	石巻市へ 人材育成、 カーシェア の調査
11	令和8年 1月21日	調査研究費	高速料金として	2,630円	
12	令和8年 1月21日	調査研究費	燃料代として	2,920円	
13	令和8年 1月21日	調査研究費	視察代として 支払先(一般社団法人日本 カーシェアリング協会)	11,000円	
			計	275,711円	

(A4)

様式第7号（第6条関係）

政務活動費支出明細書（会派名＝ 不來方 ）

（研修費・1枚のうち1枚）

No.	支出年月日	件名	内容	金額（円）	備考
1	令和8年 1月13日	研修費	第59回議員の学校 参加費として （支払先）特定非営利 活動法人多摩住民自 治研究所）	45,990円	議員の学校 （オンライン 研修会） 「財政危機 を乗り越え る」へ参加
			計	45,990円	

（A4）

分類番号				
保存期限	1・3・5・10・永			

様式第8号 (第6条関係)

議長	事務局長	事務局員
 清実	 様	 

2025年 10月 20日

矢巾町議会議長 廣田

会派名 不来方  
 代表者名 横澤 駿一   
 報告者氏名 ササキ マサヒロ 高橋 敬太



調査研究等実施報告書

実施年月日	2025年 7月 15日 ~ 16日
参加者名 (1人)	ササキ マサヒロ
目的	議会改革に関する課題についての調査
行先	北海道栗山町、白老町
対応者 又は 主催者	ササキ マサヒロ
概要及び 所見	別紙参照
経費	93,370 円 (内訳は別紙のとおり)

調査研究等経費内訳

(会派名 = 不來方 )

<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">調査研究費</span> ・ 研修費 (いずれかを○で囲む)					
交通費	交通機関名	経路	計算	計	備考
宿泊料	宿泊日	宿泊先	計算	計	備考
旅行代金		92,600 円 × 1 人 = 92,600 円			1 - 1
振込手数料		770 円			1 - 1

合計	93,370 円
----	----------

備考 領収書等の写しを添付すること。

028-3692

岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅第13地割123番地

## 積算例

発行日 2025年06月18日

予約番号 BC-031238

不来方 様

名鉄観光サービス株式会社

盛岡支店

〒020-0022

岩手県盛岡市大通3丁目3番10号

七十七日生盛岡ビル9F

TEL:019-654-1058 FAX:019-654-1044

担当者

村上

内容 7/15～16 ご旅行代金

利用日	項目名	内容	単位	単価	数量	金額
25/07/15	航空券代	いわて花巻～新千歳		21,500	1	21,500
25/07/16	JR券代	乗車券 栗山～白老		2,020	1	2,020
		指定席券 追分～南千歳		850	1	850
		指定席券 南千歳～白老		1,160	1	1,160
		乗車券 白老～矢幅		10,010	1	10,010
		指定席券 白老～新函館北斗		2,950	1	2,950
		指定席券 新函館北斗～盛岡		7,170	1	7,170
25/07/15	宿泊代	シャトレーゼホテル栗山 シングル、1泊2食		19,500	1	19,500
25/07/15	タクシー代	ジャンボタクシー1台 回送料・駐車場代・通行料		22,620 2,600	1 1	22,620 2,600
25/07/15	手配料金			1,800	1	1,800
25/07/15	保険代	国内旅行傷害保険		300	1	300
		航空機欠航補償保険		135	1	135
25/07/15	出精値引き			-15	1	-15
合 計						92,600

\*上記代金は企画旅行契約にもとづく、当社の販売価格です。

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-1

領収書その他の書類の添付欄

現金口座振替による振込受付書  
振込手数料等取寄

07630

三井住友 0 東海 支店

0196012609

92600 770円

70円

名鉄観光サービス(株)様へ

019 654-1058  
金田千太郎 3 3 10

当金庫をご利用いただきましてありがとうございます。  
次回もまたご利用いただきますようお願いいたします。

0196012609

0196012609

0196012609

下村 代表取締役 様から

矢町支店 12-69-6

盛岡信用金庫  
登録番号 T3400004

矢町支店

支払年月日	令和 7 年 6 月 30 日	
他会派との按分	(なし・あり)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)		
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	93,370 円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

# 栗山町議会視察報告書

日 時：令和7年（2025年）7月15日

場 所：北海道夕張郡栗山町議会

テーマ：議会基本条例および議会改革・議員のなり手不足対策等に関する学習

視察者：矢巾町議会

会派名	氏名
新誠会	昆 秀一
不来方	ササキマサヒロ
公明党	小笠原 佳子
新誠会	山本 好章
町民の会	高橋 安子
矢巾未来の会	村松 信一

## 1. 視察の目的

栗山町議会は、早期に議会基本条例を制定し、住民参加の仕組みや議員のなり手不足対策など全国的にも先進的な議会改革を進めている。矢巾町議会においても、「見える議会」「信頼される議会」の実現を目指し、こうした実践例から学ぶことを目的として視察を実施した。

## 2. 栗山町の概要

人口：約 11,000 人（減少傾向）

面積：約 230 km<sup>2</sup>

主な産業：農業を基幹とし、北海道内でも特色ある地域振興を展開

特徴的な取組：芸術・教育・IT 分野の人材輩出。地域に根差した自治推進。

## 3. 議会改革の歩みと特徴

(1) 議会基本条例の制定と背景

平成 18 年に制定。以降 11 回改正。

地方分権、合併失敗、財政逼迫などの時代背景を受け、「議会の責任と説明機能の強化」を目的に改革がスタート。

## (2) 議会主催の一般会議の実施

各種団体（農協・商工会・学生団体等）との意見交換の場として柔軟に開催。

## (3) 議会改革推進会議の設置

議会改革を継続的に進めるため、平成 20 年に設置。

## 4. なり手不足への対応：「議員の学校」

無投票が続いたことをきっかけに議会で調査特別委員会を設置。

制度理解・模擬議会・傍聴体験などを通じた全 6 回カリキュラム。

受講者から実際に立候補・当選した事例も複数あり、効果的な仕組みとして注目。

## 5. その他の取組

- ・議会図書室の整備（町立図書館の分室として運用）
- ・Facebook による議会情報発信
- ・政務活動費（月額 2 万円、前払い制。公認会計士による監査あり）
- ・請願・陳情制度：原則全件受付、参考人招致も可能

## 6. 矢巾町議会の立場・視点

矢巾町は岩手医大病院の立地など医療福祉都市として発展している一方、議会の政策形成力や住民との距離感に課題もある。

## 7. 所感・学び

「議員の学校」の制度設計・運営体制は即参考になる実例。

情報発信・意見収集の場を複層的に持つことの重要性を再認識。

図書室整備などの制度化にも学ぶ点多し。

議会モニターから議員の学校に参加する方もいて、実際に議員の学校を始めるときの募集の仕方も重要なこと。

副議長が、広報公聴委員長を努めていたことも印象的だった。

## 8. 今後の提案・検討事項

- ・ 「議員の学校」設置の検討
- ・ 住民参加型の意見交換制度（一般会議など）の導入
- ・ 議会図書室の充実と SNS 活用による情報発信強化

# 白老町議会視察報告書

日 時：令和7年（2025年）7月16日

場 所：北海道白老町議会

テーマ：議会改革に関する取り組みの学習

視察者：矢巾町議会

会派名	氏名
新誠会	昆 秀一
不来方	ササキマサヒロ
公明党	小笠原 佳子
新誠会	山本 好章
町民の会	高橋 安子
矢巾未来の会	村松 信一

## 1. 視察の目的

白老町議会は通年議会の導入や広報広聴機能の強化など、全国的にも先進的な議会改革を進めており、矢巾町議会においても「開かれた議会」の実現に向けた取り組みを進めるため、その実践例を学ぶ目的で視察を実施した。

## 2. 白老町の概要

人口：約 14,800 人（減少傾向）

高齢化率：約 47%

産業構造：1次～3次産業がバランスよく分散。白老牛など農水産物が特産。

観光資源：国立アイヌ民族博物館（ウポポイ）を中心とした観光施策を推進。

## 3. 白老町議会改革の歩みと特徴

### （1）改革の背景と経緯

白老町における議会改革の起点は、平成8年に設置された「白老町行政改革推進委員会」にある。この委員会は、民間金融機関出身者を含む外部有識者で構成されており、町の行政全般の見直しを提言。その中に「議会運営の全般的な見直し」が明記されたことで、議会改革が正式に議論されるようになった。

平成9年には、同委員会が「69項目にわたる改革提言」を町に答申。そのうちの1項目として、議会自らが主体的に改革を進める必要性が明文化されたことで、議会改革が本格始動。以降、段階的に「第1次～第6次改革」が実施されている。

改革は議会運営委員会を中心に進められており、「議会の自立性と信頼性を高めること」「町民との協働・対話を強化すること」を大きな目標として、継続的に見直しと更新が図られている。

## (2) 各改革フェーズの主な取り組み

### ■ 第1次・第2次改革（平成9年～平成13年頃）

- 委員会運営ルールの整備
- 質問・答弁の効率化
- 一般質問の持ち時間制限と通告制度の導入
- 会議録の公開ルールを明確化

### ■ 第3次改革（平成14年～平成18年）

- 議員定数の見直し（削減）
- 傍聴人への対応の改善
- 開かれた議会を意識した議場マナー・服装規定の見直し
- 委員会資料の事前共有とオンライン化の検討開始

### ■ 第4次改革（平成19年～平成24年）

- 自治基本条例の制定（住民と議会の関係性を明文化）
- タブレット導入の検討開始
- 広報紙の刷新
- 議会改革進行管理表の導入

### ■ 第5次改革（平成25年～令和元年）

- 通年議会制度の導入（全国初）
- 広報広聴常任委員会の設置
- 所管事務調査と連動した町民意見聴取（年8回程度）

### ■ 第6次改革（令和5年～現在）

- 議員報酬・定数・委員会構成の再検討
- 外部研修の強化による政策立案能力向上
- 動画配信、議会だより刷新など議会活動の見える化
- 「議会改革検証シート」による持続的な進捗管理

### (3) 改革の特徴と評価

白老町議会改革の最大の特徴は、「継続性」「住民参加」「制度改革の実効性」の3点にある。

一時的な取り組みで終わらず、フェーズごとに目標と成果を明確化しながら着実に実行。広報広聴常任委員会による町民参加型の政策検討は、全国でも注目される先進的な取り組みである。

また、通年議会制度をいち早く導入したことで、行政との連携や議員の機動的な対応が可能となり、議会の「働き方改革」としても高く評価されている。

## 4. 矢巾町議会の立場・視点

矢巾町は岩手県内でも人口密度が高く、医療福祉都市として発展中。若年層が多いが高齢化への備えが課題。

「政策立案能力の向上」「議会の自立性」「議会の見える化」を目指し、白老町の先進事例を参考にしたい。

## 5. 所感・学び

白老町は議員の平均年齢が道内で二番目の若さで、議会運営委員長も30代の議員が努めていて、先輩議員の方たちも20代30代から議員をやっており、とても理想的な循環機能になっている印象が持たれた。

議会傍聴規則があまりなく、指名の記入なしで傍聴もでき写真や動画・録音も可能なのは本当の意味での「開けた議会」ではないか。

通年議会の導入は議会の柔軟性を高め、町民との接点を増やす有効な手法。

広報広聴常任委員会による町民意見の収集は、信頼関係の構築に寄与

改革を進めるには内部合意と住民理解が必要であり、白老町の取組は参考になる。

分類番号				
保存期限	1・3・5・10・永			

議長	事務局長	事務局員

様式第8号(第6条関係)

2025年9月10日

矢巾町議会議長

廣田 清実 様

様



会派名 不来方

代表者名 横澤 駿一

報告者氏名 横澤 駿一 高橋 敬太

調査研究等実施報告書

実施年月日	2025年8月4日～2025年8月5日
参加者名 (7人)	谷上知子、小川文字子、小笠原佳子、吉田喜博、齊藤勝浩 横澤駿一、高橋敬太
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国策-デジタル田園都市国家構想への取組み             <ul style="list-style-type: none"> <li>①地方への人の流れ分野-PFI、KPI施策について</li> <li>②子育て支援への取組みについて</li> <li>③ふるさと納税の取組みについて</li> </ul> </li> <li>・町興し(第三セクター運営)の取組みについて</li> </ul>
行先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県山形市</li> <li>・山形県寒河江市</li> <li>・福島県田村市</li> </ul>
対応者 又は 主催者	やはば未来の会：谷上 <sup>知</sup> 子
概要及び 所見	別紙参照
経費	109,940 円 (内訳は別紙のとおり)

(A4)

別紙

調査研究等経費内訳

(会派名 = 不來方 )

<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">調査研究費</span> ・ 研修費 (いずれかを○で囲む)					
交通費	交通機関名	経路	計 算	計	備考
	名鉄観光	矢巾・仙台・山形・福島	59,980 円 × 1 人	59,980 円	1 - 1
	名鉄観光	矢巾・仙台・山形	32,070 円 × 1 人	32,070 円	1 - 6
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
	タクシー	天童ホテル・山寺駅		1,210 円	1 - 2
	タクシー	船引駅・MIMシラント		3,680 円	1 - 3
	有料道路料金			円	
	駐車料金			円	
	燃料代			円	
			円		
宿泊料	宿泊日	宿 泊 先	計 算	計	備考
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
施設見学科		5,500 円 × 2 人 = 11,000 円			1 - 4
施設見学科		1,000 円 × 2 人 = 2,000 円			1 - 5

合 計	109,940 円
-----	-----------

備考 領収書等の写しを添付すること。

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-1

領収書その他の書類の添付欄

# 領収証

BC-00034910  
発行日 2025/08/08

不來方 横澤駿一 様

**金額** ¥59,980.-



印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

上記金額を正に領収いたしました  
但し、8/4・5旅行代金として  
(保険料相当額500円含む)

- 現金  
小切手  
振込 59,980 円  
クレジット  
その他( )  
( )

名鉄観光サービス株式会社  
(本社所在地)  
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号  
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

責任者印	領収者印
	

BC-031343

## 確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。  
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)  
 但し書きが具体的な記載となっているか。  
 レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。  
 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 7 年 7 月 29 日		
他会派との按分	(なし)・あり		
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)			
会派名		円	
会派名		円	
会派名		円	
会派名		円	
会派名		円	
合計	59,980	円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-2

領収書その他の書類の添付欄

矢巾未来の会  
日本共産党矢巾町議団

天童不來方 → 山手駅

町民の会

不來方  
公明党

領 収 書

No.4468

日付 '25年08月05日

車番 000525 000

基本運賃 ¥3630円

運賃料金計 ¥3630円

通行料他計 ¥0円

合計 ¥3630円

上記の通り領収致しました

消費税 率 10%

ユトリアグループ

山交ハイヤー株式会社

登録番号:

T5380001002176

天童市矢野目2445-1

天童営業所

023-654-2525

福祉タクシー-023-654-2610

領 収 書

No.5783

日付 '25年08月05日

車番 000514 000

基本運賃 ¥3630円

運賃料金計 ¥3630円

通行料他計 ¥0円

合計 ¥3630円

上記の通り領収致しました

消費税 率 10%

ユトリアグループ

山交ハイヤー株式会社

登録番号:

T5390001002176

天童市矢野目2445-1

天童営業所

023-654-2525

福祉タクシー-023-654-2610

タクシー代

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。  
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 令和 7年 8月 5日

他会派との按分 (なし・あり)

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名不來方	1210	円	
会派名日本共産党矢巾町議団	1210	円	
会派名公明党	1210	円	
会派名町民の会	1210	円	
会派名矢巾未来の会	2420	円	2人
合計	7260	円	領収書の金額と一致

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-3

領収書その他の書類の添付欄

矢巾未来の会  
町民の会 不事方  
日本共産党矢巾町議団  
公明党

船引馬入 → 川三川エウチ → 船引馬入

領 収 証 矢巾町議会議員 御一行様 No. \_\_\_\_\_

金額									
		¥	22	120	-				

内 訳	ジャンボタクシー	但
現金		
小切手	/	
手形	/	
消費税額等(%)		
消費税額等(%)		

7年 8月 5日 上記正に領収いたしました

福島県田村市船引町船引字東中子縄4番地

東部自動車合資会社

TEL 0247-82-1182

FAX 0247-82-1182

登録番号 T7380003000564

収入印紙



CR095223

ジャンボタクシー代

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。  
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 7年 8月 5日	
他会派との按分 (なし・あり)	あり	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)		
会派名 不来方	3680 / 円	
会派名 日本共産党矢巾町議団	3680 円	
会派名 公明党	3720 円	
会派名 町民の会	3680 円	
会派名 矢巾未来の会	7360 円	2人
合計	22120 円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-4

領収書その他の書類の添付欄

0001-0003  
会計日: 2025/8/4

**領 収 書**

矢巾町議会一行 (研方) 様  
7名、研方2名

領収金額

¥38,500-  
(10%標準対象 ¥38,500)  
(内消費税等 ¥3,500)

上記正に領収いたしました

但 視察代 として

**特定非営利活動法人  
生涯スポーツ振興会**  
山形県山形市  
大字片谷地580-1  
TEL: 023-576-9876  
登録番号: T4390005001109

**確認項目**

あて名欄は、会派名とな (複数会派合同の場合) 担当者: 管理者  
領収書No: 000120250804100530685

但し書きが具体的な記載

レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。

鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 7 年 8 月 4 日
他会派との按分 (なし・ <b>あり</b> )	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 不來方	11,000 円
会派名 公明党	5,500 円
会派名 矢巾未来の会	11,000 円
会派名 町民の会	5,500 円
会派名 共産党矢巾町議団	5,500 円
合計	38,500 円
	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-5

領収書その他の書類の添付欄

領 収 証

矢巾町議会 不來方 様 No. \_\_\_\_\_  
 全7名 (不來方2名)

★

¥7,000  
 不來方として

但

2017年8月4日 上記正に領収いたしました 登録番号 \_\_\_\_\_

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

〒990-0503  
 山形県寒河江市大字田代370-1  
 登録番号 T8390005008645  
 特定非営利活動法人 葉山の里たし  
 理事長 宮林 寛  
 TEL 0237-85-0822 / FAX 0237-85-0823



収 入  
 印 紙

コクヨ ウケ-1097

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。  
 (複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 令和 7 年 8 月 4 日

他会派との按分 (なし・**あり**)

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名	不來方	2,000	円	
会派名	公明党	1,000	円	
会派名	矢巾未来の会	2,000	円	
会派名	町民の会	1,000	円	
会派名	共産党矢巾町議団	1,000	円	
合計		7,000	円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-6

領収書その他の書類の添付欄

# 領収証

BC-00034913  
発行日 2025/08/08

不來方 高橋敬太 様

**金額** ¥32,070.-



印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

上記金額を正に領収いたしました  
但し、8/4・5旅行代金として  
(保険料相当額500円含む)

- 現金  
小切手  
振込 32,070 円  
クレジット  
その他( )  
( )

名鉄観光サービス株式会社  
(本社所在地)  
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号  
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

責任者印	領収者印
	

BC-031343

## 確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。  
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 7 年 7 月 29 日
他会派との按分	(なし)・あり
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名	円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
合計	32,070 円
領収書の金額と一致	

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

# 山形県山形市「コパル」視察研修報告書

2025年8月25日

筆耕者 会派 不来方 横澤 駿一

## 1. 視察概要

視察日：2025年8月4日

視察先：シェルターインクルーシブプレイスコパル

所在地：山形県山形市大字片谷地 580-1

参加者：矢巾町議会議員

(齊藤 勝浩, 谷上 知子, 吉田 喜博, 小笠原 佳子, 高橋 敬太, 横澤 駿一, 小川 文子)

目的：

インクルーシブな設計思想に基づく先進的な児童遊戯施設「コパル」の整備・運営に関する事例を学び、町内の子ども・子育て環境の充実、公園・交流施設整備、PFI活用等の今後のまちづくりに活かすことを目的とする。

## 2. 施設概要

- ・コパルは2022年4月に山形市南部に開設された児童遊戯施設で、「生きる力を育む、未来の遊び場」をコンセプトとしている。
- ・曲線状のドーム型屋根や自然と一体となるランドスケープ設計が特徴で、屋内外を一体的に活用した自由な遊び場を提供。
- ・建築は建築家ユニット「o+h」（大西麻貴氏・百田有希氏）による設計。
- ・18歳未満の児童とその保護者を対象に無料で開放されており、授乳室やオムツ替えスペース、飲食スペース、駐車場も完備。
- ・PFI方式（BTO方式）で整備され、地元企業13社による特定目的会社（SPC）「夢の公園」が運営。

## 3. 主な学び

- ・インクルーシブ設計の真髄は、目の前の誰かを理解し、笑顔にしたいという当事者目線にある。
- ・設計・建設・運営すべての段階で、福祉・スポーツ・教育など多分野の専門家と地域住民が協働し、多様性を包摂する空間を創出。

- ・障がい児保護者の声を取り入れた遊具の導入、設計段階からの話し合いを150回以上行うなど、合意形成とプロセス重視の運営が印象的。

- ・施設は無料で運営されているが、カフェや自販機、キッチンカーなど間接的な付帯収益を確保している。

- ・PFI方式は財政負担の平準化と民間活力の活用という点で有効である一方、契約期間後の再整備や更新時の計画性が課題となりうる。

- ・来場者数は2022年4月オープン以来2024年1月には累計30万人。月平均約1万5千人の来場者がいる。

#### 4. 矢巾町への提言や実現可能性

- ・町内の保育施設・保護者・支援者を対象にした遊び場・居場所のニーズ調査を実施が必要。

- ・障がいの有無を問わず、すべての子どもが安心して過ごせる屋内外施設の整備が望ましい。

- ・町民・当事者・専門家が設計段階から参画できるワークショップ型の施設整備プロセスを構築する手法が大切。

- ・PFIやPPPの手法も視野に入れた、民間との協働による施設整備・運営の可能性の調査。

- ・既存施設（学校、公園、公共施設など）の改修においても、インクルーシブ視点を取り入れて行くことが重要。

#### 5. 所感

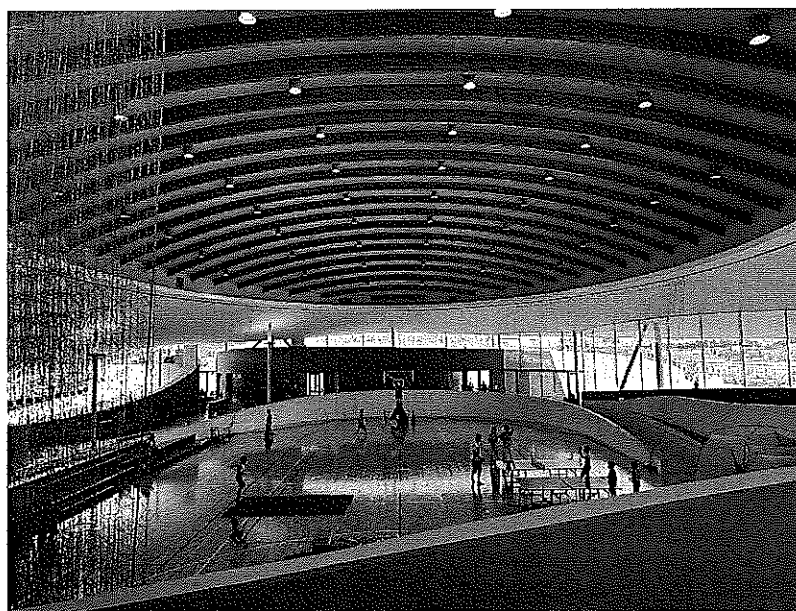
矢巾町では現在、子どもの遊び場が少ない、屋根付きの遊び場がほとんどない、無料で遊べる場所が減ってきているといった子育て環境上の課題があります。こうした背景から、子育て世帯を支援し、課題解決に向けた施策を学ぶことを目的として、今回の視察を行った。

今回のコパル視察では、こうした町の条件にマッチした整備手法や運営のヒントを数多く得ることができ、矢巾町版のインクルーシブな居場所づくりに活かせると感じた。

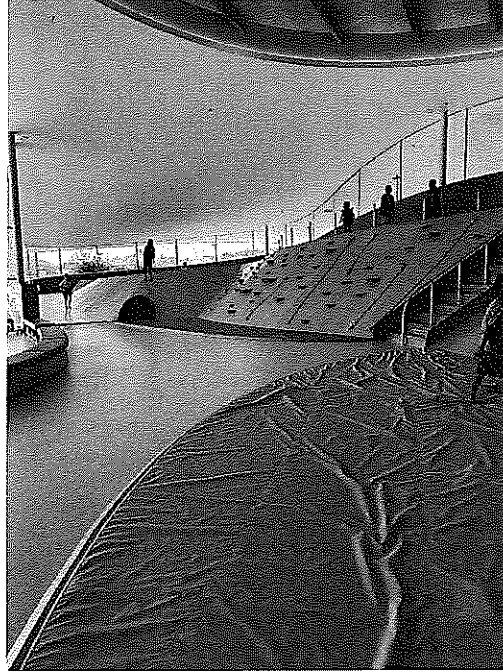
【視察風景写真】



コパル外観（曲線的な屋根とカフェスペース）



多目的アリーナ（屋内運動スペース）



遊具エリア (クライミングと遊び場)

2025年8月25日

筆耕者 会派 不来方 横澤 駿一

## 1. 視察概要

■ 視察先：山形県寒河江市「クラッピンさがえ」「チェリーランド再編プロジェクト」

■ 視察日：2025年8月4日

■ 参加者：矢巾町議会議員

(齊藤 勝浩, 谷上 知子, 吉田 喜博, 小笠原 佳子, 高橋 敬太, 横澤 駿一, 小川 文子)

## 2. 視察の目的

寒河江市におけるPFI（公設民営）方式を活用した子育て支援・交流施設の整備と運営について学ぶことを目的とし、跡地活用、観光資源との融合、多機能施設による地域活性化の事例を矢巾町のまちづくりに活かす。

## 3. 背景と整備の経緯

寒河江市では少子化に伴い学校統廃合が進み、未利用地となった小学校跡地の活用が課題とされていた。地域住民の提案をもとに、子育て支援・観光交流・宿泊体験機能を持つ多機能施設として整備された。

## 4. 施設の特徴

- ・屋内外一体型の児童遊戯・学習施設「クラッピンさがえ」
- ・日本最大級の大型ネット遊具を中心とした構造
- ・RVパークや芝生広場、親水施設、創作活動スペースを併設
- ・道の駅「チェリーランド」と連携し、特産品販売や観光誘客にも寄与
- ・PFI導入により、民間のノウハウを活かした施設設計・運営を実現

## 5. 整備・運営方式

- ・ 事業費：約 14 億 9 千万円（国の交付金を活用）
- ・ プロポーザル方式により民間事業者を選定（JP フラワー株式会社）
- ・ 10 年間の指定管理契約に基づき、運営と維持管理を一体化
- ・ 設計から建築、運営まで一貫して民間が担う PFI 方式

## 6. 質疑応答の要点

- ・ 市民や保育士、教育関係者との意見交換を通じて設計を実施
- ・ 市長のリーダーシップとスピード感ある行政判断が整備を後押し
- ・ 利用者の約 7 割が市外から来訪、地域経済効果が大きい
- ・ 無料開放型施設で、物販やイベントによる収益化を図る
- ・ 混雑時は時間帯入替制を導入し、安全管理にも配慮

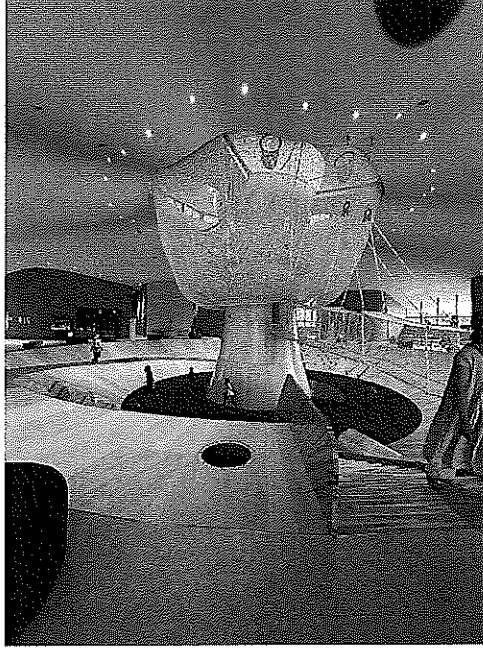
## 7. 所見・矢巾町での実現可能性など

- ・ 矢巾町においても、学校統廃合の議論や未利用地活用之际し、寒河江市のような PFI 活用による複合施設整備は参考になる。
- ・ 子育て支援と地域活性化、観光との融合を意識したまちづくりが今後ますます重要となる。
- ・ 施設整備にあたっては、設計段階から住民参加を確保し、地域の声を反映させるプロセスが不可欠である。

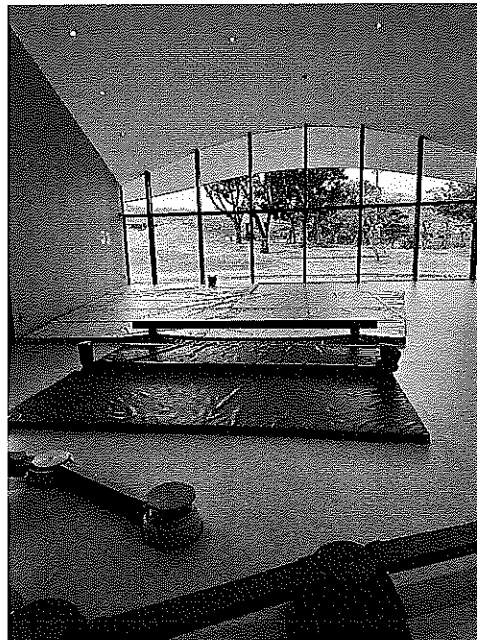
### 【視察風景写真】



クラッピンさがえ 外観（入口部分）



大型ネット遊具エリア（施設の中心構造）



室内運動スペース（幼児向け遊び場）

# 学びの里 TASSHO 視察報告書

2025 年 8 月 25 日

筆耕者 会派 不來方 横澤 駿一

## 視察の概要

■ 視察先：山形県寒河江市 田代地区

廃校を活用した地域交流・宿泊施設「学びの里 TASSHO」

■ 視察日：2025 年 8 月 4 日

■ 参加者：矢巾町議会議員

(齊藤 勝浩, 谷上 知子, 吉田 喜博, 小笠原 佳子, 高橋 敬太, 横澤 駿一, 小川 文子)

## 1. 視察の目的

廃校を活用した地域交流・宿泊施設「学びの里 TASSHO」の運営状況を調査し、地域活性化や交流人口拡大の仕組みとして参考にする。

## 2. 地域の概要

寒河江市田代地区は霊峰葉山の山麓に広がる標高約 300m の中山間地域であり、さくらんぼ・ブルーベリー・米・野菜などの農産物が特産。春の福寿草、夏のホタル、満天の星空など豊かな自然が残る地域である。人口は約 180 人、戸数 70、高齢化率 50% 超と小規模だが、地域ぐるみで訪問者を歓迎している。

## 3. 施設の沿革

平成 25 年に閉校した旧田代小学校をリノベーションし、2018 年に「学びの里 TASSHO」としてオープン。開設は寒河江市、運営は NPO 法人学びの里 TASSHO が担っている。

#### 4. 主な機能と特色

##### ① レストラン「たしろ亭」

山菜・きのこを中心に地元食材を活かした定食やお膳料理を提供。かつて地域行事で使用されたお膳を再活用し、田代地区のお母さんたちが伝統の味を守りながら調理を担う。宿泊者の食事も提供している。

##### ② 宿泊機能

元教室を改装した洋室（二段ベッド）や和室を備え、最大 60 人が宿泊可能。浴室も整い、合宿や観光の拠点として活用されている。

##### ③ 里山体験プログラム

豆腐づくり体験、星空観察会、トレッキング、スノーシュートレッキングなど四季折々の体験を実施。地域住民が講師を務め、地域の暮らしや文化を体感できる。

##### ④ 施設貸出

体育館、音楽室、多目的活動室、自炊室、グラウンドを開放。スポーツ合宿や音楽練習、レジャー活動など幅広く利用できる。

##### ⑤ 地域のホスピタリティ

地域住民が主体的に関わり、NPO 法人理事長の宮林寛一氏と支配人の齊藤好弘氏を中心に運営。人口規模が小さいながらも「みんな、待ってるよー！」と温かい歓迎の姿勢が印象的だった。

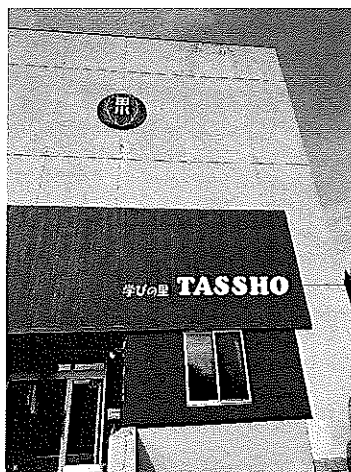
## 5. 施設情報

施設名	田代地区多目的交流館 学びの里 TASSHO
住所	〒990-0503 山形県寒河江市大字田代 370-1
電話	0237-85-0822
FAX	0237-85-0823
メール	ys-tashiro21@hayama-tashiro.com
ホームページ	www.hayama-tashiro.com
受付時間	9:00～17:00
利用時間（昼間）	8:30～17:00
夜間利用時間	17:30～21:30
利用期間	通年
休館日	毎週水曜日

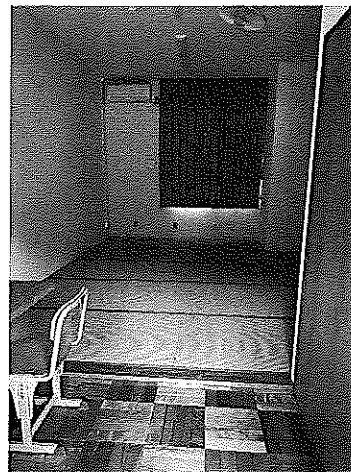
## 6. 評価と考察

本施設は廃校を有効活用し、宿泊・食・体験を組み合わせた交流拠点として成功している。地域住民の参画により持続性を確保し、都市部との交流人口拡大に寄与している。一方で、維持管理や人材確保、利用者数の季節変動が課題であり、今後は広域観光資源との連携強化をしていきたいと話していた。

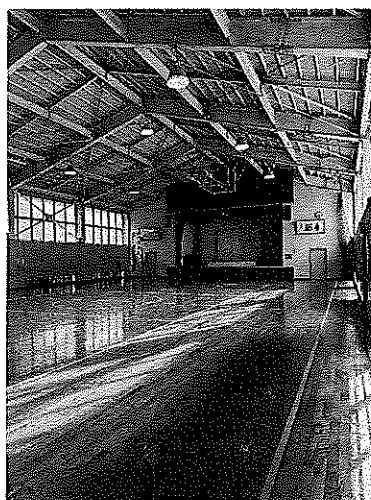
【視察風景写真】



学びの里 TASSHO 外観（旧田代小学校を改装）



和室（宿泊用客室）



体育館（地域イベントや合宿に活用）



浴室（宿泊者用設備）

# 福島県田村市ムシムシランド視察報告書

2025年8月25日

筆耕者 会派 不来方 横澤 駿一

## 1. 視察概要

日時：2025年8月5日(火)

場所：福島県田村市常葉町 ムシムシランド

参加者：矢巾町議会議員

(齊藤 勝浩, 谷上 知子, 吉田 喜博, 小笠原 佳子, 横澤 駿一, 小川 文子)

目的：田村市の地域資源を活用した観光・体験型施設の運営実態とその可能性について学び、矢巾町の町おこし・地域活性化の参考とするため。

## 2. ムシムシランドの概要と特徴

- ・運営主体は田村市の第三セクター「田村市常葉振興公社」。
- ・田村市が所有し、指定管理制度に基づいて振興公社が運営。
- ・「カブトムシ自然観察園」を中心とした体験型観光施設で、キャンプ場、物産販売、飲食なども併設。
- ・収益だけでなく地域の教育・福祉・人材育成にも貢献。
- ・地元住民や若者が関わる仕組み、学校教育との連携、SDGs への取組も特徴的。

## 3. 視察から得られたこと

- ・単なる観光施設ではなく、「町の顔」「交流の起点」としての役割を持たせる設計を行っていた。
- ・地域資源（カブトムシ）を町のシンボル化し、ストーリーと愛着を生んでいる。
- ・若年層・子育て世代を呼び込む場づくりが、移住・定住にもつながる可能性も見えた。
- ・第三セクターによる柔軟な運営体制と、行政との連携が良好だった。

## 4. 矢巾町での活用可能性

- ・矢巾町においても、農業、自然、動物などを活かした体験型施設の構想ができそう。
- ・子ども・若者・高齢者が関われる「居場所」的要素も含んで考えていきたい。
- ・町民と共につくる「まちの資源発掘」「誇りづくり」を軸にした町おこしができそう。
- ・行政主導にしすぎず、地域団体やNPO等との連携による持続的運営の検討も大切。

## 5. 今後の課題・確認事項

- ・ 矢巾町での地域資源の再発掘（例：農業、昆虫、自然体験等）
- ・ 第三セクター・地域団体との連携方法、制度設計
- ・ 収支バランスと公共性の両立
- ・ 観光と教育・福祉・人材育成のクロスオーバーの可能性
- ・ 町民参画型の施設づくり、運営体制

### 【視察風景写真】



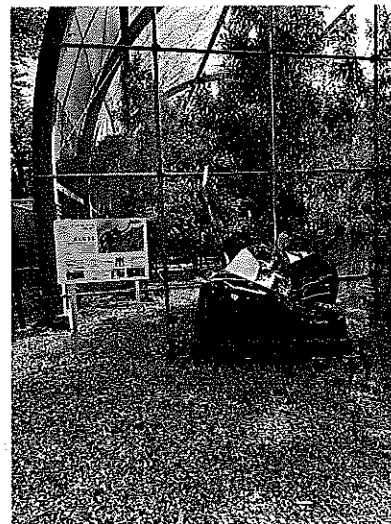
ムシムシランド入口看板



カブトムシ販売コーナー



カブトムシドーム 外観



大阪関西万博に展示したモジュール

分類番号					
保存期限	1	3	5	10	永

様式第8号 (第6条関係)

議長	事務局長	事務局員
清実	様	廣田

2026年 2月 13日

矢巾町議会議長

廣田

会派名 不来方



代表者名 横澤駿一



報告者氏名 横澤駿一、ササキマサヒロ、高橋敬太

調査研究等実施報告書

実施年月日	2026年 1月20日 ~ 2026年 1月 21日
参加者名 (3人)	横澤駿一、ササキマサヒロ、高橋敬太
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興企画部地域振興課で行っている「石巻市協働推進人材育成事業」</li> <li>・カーシェアの取り組みを</li> <li>・IT人材育成</li> </ul> 上記について事例を調査するため
行先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻市役所</li> <li>・石巻市内</li> </ul>
対応者 又は 主催者	横澤駿一
概要及び 所見	別紙参照
経費	72,401 円 (内訳は別紙のとおり)

調査研究等経費内訳

(会派名 = 不来方)

<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">調査研究費</span> ・ 研修費 (いずれかを○で囲む)					
交通費	交通機関名	経路	計 算	計	備考
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
				円	
				円	
	有料道路料金	紫波 — 若柳金成	2,630 円	2,630 円	1 - 1 ✓
	有料道路料金	若柳金成 — 紫波	2,630 円	2,630 円	1 - 2 ✓
燃料代	矢巾 — 石巻 往復 ✓		2,920 円	1 - 3 ✓	
			円		
宿泊料	宿泊日	宿 泊 先	計 算	計	備考
	R8.1.20	石巻グランドホテル	10,107 円 × 3 人	30,321 円	1 - 4 ✓
	R8.1.20	宿泊税 ✓	300 円 × 3 人	900 円	1 - 5 ✓
		円 × 人	円		
視察料(イトナブ) ✓				22,000 円	1 - 6 ✓
視察料(日本カーシェアリング協会) ✓				11,000 円	1 - 7 ✓

合 計	72,401 円
-----	----------

備考 領収書等の写しを添付すること。

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-1

領収書その他の書類の添付欄

ご利用ありがとうございます。



お電話では一旦停止してください。

利用証明書

料金所 若柳金成  
NEXCO東日本お客さまセンター  
03-70-024-024  
または  
03-5308-2424

26年 1月20日 9時41分

車種 普通

通行料金 ¥2,630-

(第1号)

入口料金所 滝渡  
ETC 有効期限27年 2月  
会員番号 (支払 1回払い)  
XXXXXXXXX56915352  
ETCならいじり不要。  
便利なETCをぜひご利用ください。  
東日本高速道路株式会社  
東京都千代田区藤が里3-5-2  
取扱番号201-00300330-00


確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。  
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 8 年 1 月 20 日
他会派との按分	(なし・あり)
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
合計	2,630 円 領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-2
領収書その他の書類の添付欄	
<p style="text-align: right;">ご利用ありがとうございます。  株式会社東日本旅客鉄道</p> <p style="text-align: center;"><b>利用証明書</b></p> <p>料金所 紫波 ✓ NEXCO東日本紫波サービスセンター 〒977-0244 福島県いわき市紫波 電話 0246-55998-2424</p> <p>26年 1月21日 18時10分 車種 普通</p> <p>通行料金 ¥2,630- (現金)</p> <p>— 入会料なし — 年会費なし ETC 有効期限 27年 2月 会員番号 (東北) — 121111 *****86715052 ETCの金額不変。 ご利用終了後をETCに入庫ください。 東日本旅客鉄道株式会社 東京千代田区霞が関3-5-2 電話番号 213-0001・707-00</p>	
<b>確認項目</b>	
<input type="checkbox"/> あて名欄は、会派名となっているか。 (複数会派合同の場合は、全ての会派名)	
<input type="checkbox"/> 但し書きが具体的な記載となっているか。	
<input type="checkbox"/> レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。	
<input checked="" type="checkbox"/> 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。	
支払年月日	令和 8 年 1 月 21 日
他会派との按分 (なし・あり)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
会派名 _____	円 _____
合計	2,630 ✓ 円 領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-3

登録番号: T9100001000669

# 領 収 証

No 157383

2025年 1 月 21 日

三盛市 殿

収 入

金 額				2,920
-----	--	--	--	-------

印 紙

但し 送料代 200  
内消費税 ¥ 200

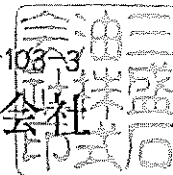
内 訳				
現 金	✓			
小 切 手				
振 込				
相 殺				
手 形	自己書	年	月	日
	自書			
	自書			
	自書			
	自書			
	自書			

上記の金額正に領収致しました

本証の金額訂正と社印及び取扱者印のないものは無効です。

茨城県矢巾町又兵衛新田8-108-3

三盛石油株式会社



55255

三盛

- あて名欄は、会派名となっているか。  
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 令和 8 年 1 月 21 日

他会派との按分 (なし)・あり

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名		円	
会派名		円	
会派名		円	
会派名		円	
会派名		円	
合計	2,920 ✓	円	領収書の金額と一致

※ 1 枚につき、1 支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-4

領収書その他の書類の添付欄



名称  
Agoda International Japan株式会社  
東京都港区  
赤坂1丁目  
恵比寿サウスビル4階

予約番号 168201629  
発行日 January 20, 2020

領収書

宿泊者氏名と住所		
名刺	久米町議会 会派 平塚大	
Eメールアドレス	office@hunchi@gmail.com	
記述		合計
ホテル名	Interimaki Grand Hotel	
期間	January 20, 2020 - January 21, 2020 (2泊 1日)	
部屋タイプ	Standard Single Room - ATyo Non Smoking	
部屋数	3	
エクストラベッド数	0	
合計金額(税込) 金額		JPY 30,321

平塚 大



この領収書は自動的に作成されています。

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。  
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 令和 8 年 1 月 20 日

他会派との按分 (なし・あり)

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
合計	30,321	円 領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(1-4)



住所：  
Agoda International Japan株式会社  
東京都渋谷区  
恵比寿南1-7-8  
恵比寿サウスワン8階

予約番号 1686301628  
支払日 January 20, 2026

### 領収書

宿泊者氏名 & 住所	
名前	矢巾町議会 会派 不来方
Eメールアドレス	office.shunichi@gmail.com

記述		合計
ホテル名	Ishinomaki Grand Hotel	
期間	January 20, 2026 - January 21, 2026 (泊数 : 1泊)	
部屋タイプ	Standard Single Room A Typ Nonsmoking	
部屋数	3 ✓	
エクストラベッド数	0	
合計お支払い金額		JPY 30,321 ✓

中林 さとみ



この領収書は自動的に作成されています。

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-5

領収書その他の書類の添付欄

領収書 RECEIPT

発行日 11/22 2023/01/20 12:41:44

お客様 不承方様

〒600-0027 京都市石橋町千石町2-10  
TEL (0225) 63-8111(代機)  
FAX (0225) 63-8115

GRAND HOTEL

〒600-0027 京都市石橋町千石町2-10  
TEL (0225) 63-8111(代機)  
FAX (0225) 63-8115

GRAND HOTEL

領収番号 RECEIPT NO.	発行日 ISSUE DATE	消費月 CONSUME MONTH	発行月 ISSUE MONTH	発行人数 PERSONS
601	2023/01/20	2023/01/20	2023/01/20	2

日付 DATE	品名 DESCRIPTION	数量 QTY	単価 PRICE	数量 QTY	金額 AMOUNT	お支払い PAID	差金 BALANCE	備考 REMARKS
2023/01/20	朝食料	200	1		200			
	朝食料	200	1		200			
	朝食料	300	1		300			
	(現金)			300				
	(消費税等)			300				

合計金額 AMOUNT TOTAL 900

お支払い PAID TOTAL 0

差金 BALANCE TOTAL 900

発行日 2023/01/20

発行所 京都市石橋町千石町2-10

確認項目

- あて名欄は、会派名と  
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 8 年 1 月 20 日	
他会派との按分 (なし・あり)	(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	900 円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

159581

# 領収書

RECEIPT

発行日  
ISSUED 2026/01/20 17:44:44

(1-5)

お名前  
NAME 不来方様

Ishinomaki  
**HI GRAND HOTEL**

領収金額  
RECEIVED THE SUM OF ¥900

印  
紙

(上記金額には消費税が含まれております。)

〒986-0827  
宮城県石巻市千石町2-10  
TEL (0225)-93-8111(代表)  
FAX (0225)-93-8110

このたびは当ホテルにご宿泊下さいまして誠にありがとうございます。またのお越しを心よりお待ちしております。  
なお、お勘定には所定の税金が加算されております。  
We are delighted to have you with us. We are looking forward to serving you again. Tax have been added to your bill.

お名前  
NAME 不来方様

Ishinomaki  
**HI GRAND HOTEL**

部屋番号 ROOM NO.	到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	発行日 ISSUED	宿泊人数 PERSONS
601	26/01/20	26/01/21	26/01/20	3

〒986-0827  
宮城県石巻市千石町2-10  
TEL (0225)-93-8111(代表)  
FAX (0225)-93-8110

日付 DATE	摘要 DESCRIPTION	単価 PRICE	数量 Q'TY	金額 AMOUNT	お支払い PAID	消・率 TAX SV	備考 REMARKS
26/01/20	宿泊税	300	1	300			
	宿泊税	300	1	300			
	宿泊税	300	1	300			
	(宿泊税)	900					
	(消費税等)	900					
会社名 COMPANY					ご利用金額 AMOUNT TOTAL	ご入金額 PAID TOTAL	ご請求金額 BALANCE DUE
住所 ADDRESS					900	0	900

ご署名  
SIGNATURE

CA

13

1

159581

T5370301000104

※軽減税率対象科目

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-6
領収書その他の書類の添付欄	

領 収 証

不來方

様 No. \_\_\_\_\_

★ ￥22,000

但 視察費

2026 年 1 月 20 日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等

T986-0863 宮城県石巻市門脇字元祖屋敷30-25

株式会社 イトナブ  
代表取締役 古山隆幸

T3370001031384

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。  
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 8 年 1 月 20 日	
他会派との按分	(なし・あり)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)		
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
会派名 _____	円	
合計	22,000	円 領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-7
領収書その他の書類の添付欄	

領 収 証 不 来 万 様 No. 2760

★ 11,000-  
但 視察代として

2026年1月21日 上記正に領収いたしました 登録番号

内訳 円 金額(税込) 11,000 登録番号 T2140005009062

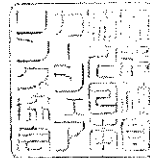
10% 消費税額等 1,000

一般社団法人  
日本カーシェアリング協会

代表理事 吉澤武彦

〒986-0813 宮城県石巻市隈前北通り一丁目5-23

TEL 0225-22-1453



収 入  
印 紙

コクヨ ヴケ1037

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。  
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 8 年 1 月 21 日	
他会派との按分	(なし・あり)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)		
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	11,000 / 円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

# 行政視察報告書

## 石巻市 協働推進人材育成事業(NPO留学)について

報告者: 矢巾町議会議員 横澤 駿一

提出日: 令和8年2月5日

### 1. 視察の背景と目的

近年、地方自治体を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進行、財政制約の強まりなどにより、従来型の行政運営のみでは地域課題への対応が困難となっている。こうした状況の中、行政と市民、民間団体等が役割を分担しながら課題解決に取り組む「協働」の重要性が一層高まっている。

石巻市では、東日本大震災からの復旧・復興過程において、多くの市民公益活動団体(NPO)が行政と連携し、地域の再生に大きな役割を果たしてきた。その経験を踏まえ、市民団体との協働を制度的に推進するため条例改正を行い、現在は204団体のNPOが登録されている。

本視察は、こうした協働推進の枠組みの中で実施されている「協働推進人材育成事業(NPO留学)」について、事業の背景、設計思想、実施体制、効果および課題を把握し、矢巾町における今後の人材育成および協働施策の検討に資することを目的として実施した。

### 2. 事業の概要と設計思想

協働推進人材育成事業(NPO留学)は、市職員を一定期間、市民公益活動団体に派遣し、団体の活動現場に直接関わることで、協働に対する理解と実践力を高めることを目的としている。

#### (1) 事業の目的

- 市職員の協働に対する意識の向上
- 市民公益活動団体の特性や発想を理解し、協働を推進できる人材を育成すること

#### (2) 事業の流れ

##### 1. 事前研修

協働の必要性や制度的背景、過去の派遣事例の共有、NPOに関する基礎知識の習得

を行う。

## 2. 派遣研修(NPO留学)

7月から12月までの期間において、NPO団体へ3日間派遣。

令和5年度までは5日間で実施していたが、通常業務との両立を考慮し、現在は3日間に見直されている。

## 3. 報告会

派遣後、成果や気づきを報告し、所属部署および庁内全体への共有を図る。

### (3)制度設計上の特徴

- 若手職員を中心に派遣し、将来を見据えた人材育成と位置づけている点
- 派遣先は職員本人の希望を踏まえて決定し、主体的な学びを促している点
- 人事課が所管する一般的な人事研修とは切り分け、地域振興課が協働推進の観点から所管している点

---

## 3. 実施体制

本事業は地域振興課が所管し、NPO支援を担う外部団体への業務委託を活用しながら実施されている。

事業費は主に業務委託料で構成され、令和6年度時点では約66万円規模で運用されている。

地域振興課は、NPO支援のほか、離島振興、国際交流、公共交通など多岐にわたる分野を担当しており、少人数体制の中で協働推進を重要施策の一つとして位置づけている。

---

## 4. 視察を通じて確認された効果と課題

### (1)主な効果

- 市職員が市民ニーズを現場で把握し、行政業務とのつながりを実感できている。

- 派遣を通じて、NPOとの人的ネットワークが形成され、協働の土台づくりにつながっている。
- 受け入れ側のNPOにとっても、行政職員の業務内容や制約を理解する機会となり、相互理解が進んでいる。

## (2) 主な課題

- 事業効果を数値で示すことが難しく、評価手法の確立が課題となっている。
- NPO側には、受け入れ準備や日程調整など一定の負担が生じる。
- 行政業務との直接的な関連性が見えにくいと感じる職員が一部に存在する。

---

## 5. 矢巾町への示唆および提言

石巻市の取り組みから、矢巾町において参考とすべき示唆は以下のとおりである。

### 1. 緊急度は低いが高重要性の高い施策としての人材育成

協働推進や人材育成は即効性に乏しいが、中長期的には行政運営の質を左右する重要な基盤である。

### 2. 人事研修と切り分けた制度設計

協働を目的とした人材育成として制度化することで、実践に結びつきやすくなる。

### 3. 若手職員への重点的な経験付与

早い段階で行政の外に出て地域や市民活動の現場を知ることは、将来の政策立案や行政運営に資する。

### 4. 小規模・試行的導入の検討

少人数・短期間から試行し、効果や課題を検証しながら段階的に制度化することが現実的である。

---

## 6. まとめ

石巻市の協働推進人材育成事業は、協働を理念にとどめず、実践を通じて人材を育成する取り組みであり、行政と市民活動の関係性を将来にわたって支える基盤づくりと評価できる。

矢巾町においても、行政の内外に目を向けた人材育成のあり方を検討し、協働による地域課題解決を進めていく必要がある。

以上、行政視察の報告とする。

---

## 視察報告書（詳細版）

### 1. 視察先・視察目的

#### 【視察先】

日本カーシェアリング協会

#### 【視察目的】

少子高齢化の進行や公共交通の縮小により、地域住民の移動手段の確保が全国的な課題となっている。

本視察では、住民主体の互助活動として展開されている「コミュニティカーシェアリング」の仕組みを通じ、

移動支援と地域コミュニティ形成を同時に実現する手法や、自治体との関わり方について知見を得ることを目的とした。

### 2. 団体概要

日本カーシェアリング協会は、東日本大震災を契機に宮城県石巻市で設立された団体である。

震災により約 6 万台の車両が失われた状況下で、寄付車両を活用した支援活動を開始し、現在では被災地に限らず、全国各地で地域主体のカーシェアリング事業を展開している。

車両台数は約 600 台に及び、複数の地域拠点を持つ全国的な実践団体である。

### 3. コミュニティカーシェアリングの仕組みと特徴

本取組の最大の特徴は、移動手段の確保そのものを目的とするのではなく、

「住民同士が支え合う地域づくり」を主目的としている点にある。

住民がサークル（会）を組織し、1 台の車を共同で管理・利用することで、

自然な声かけや見守り、交流が生まれる仕組みとなっている。

定期的に開催されるサロン（お茶っこ）では、  
利用ルールの確認、外出企画の立案、役割分担の調整などを行い、  
無理のない範囲で継続可能な運営が図られている。

#### 4. 運営体制および費用の考え方

運営はすべて住民主体で行われ、特定のサービス提供者や顧客という関係性は存在しない。

費用については「利用料」ではなく「預かり金」として住民から集め、  
ガソリン代・保険料・車両維持費などの実費に充当する。

年度末等に精算を行い、余剰金は利用割合に応じて返金される仕組みとなっている。

この方式により、営利事業や運送事業には該当せず、  
法制度上も整理された形で住民互助活動としての継続が可能となっている。

#### 5. 効果と評価、課題

##### 【主な効果】

- ・高齢者や免許返納者の通院・買い物等の外出機会の確保
- ・孤立防止や見守り機能の自然発生
- ・退職後の住民が地域で役割を持つことによる生きがい創出

アンケート結果では、移動の利便性向上以上に

「参加すること自体が楽しい」「人とのつながりが増えた」といった回答が多く、  
コミュニティ形成効果の高さが確認されている。

#### 【課題】

- ・ ボランティア運営のため、公共交通の代替としての安定性には限界がある
- ・ 担い手不足を防ぐため、導入時は小規模から段階的に展開する必要がある

#### 6. 本町への示唆と今後の検討視点

本取組は、交通政策にとどまらず、  
地域福祉、健康づくり、孤立防止、地域コミュニティ再生といった  
複数分野を横断する施策として位置づけることが可能である。

特に、

- ・ 公共交通を補完する住民主体の移動支援
- ・ 高齢者の社会参加と役割創出
- ・ 行政負担を抑えつつ持続可能な地域運営

といった観点から、本町においても導入可能性や制度連携について  
調査・研究を進める価値のある先進事例であると考えている。

概要および所見

株式会社 イトナブ

### 【背景・目的】

本町の IT 教育および IT 関連の人材育成は進んでいるとは言いがたい。他の市町村では民間および官民連携で IT 分野の人材育成事業が行われている。

さらにそこで育った若者が地元で就職または起業をして住みくらし、また外へ出た若者も地元への恩返しとして関わり続けてくれている。

現在では全国に拠点を展開され、このようにまちの将来を支える取り組みを行っている現場を訪れ、本町でも IT 分野の人材育成や教育の参考にするために視察を行う。

### 【概要】

2015 年 設立

従業員数 24 名（パート・アルバイト含む）

事業内容

**教育事業**

「地方部でも都心に負けないプログラミング教育」をスローガンに多くの地域で無料のプログラミングワークショップを開催。地域の小中学生を対象にモノづくりをテーマにプログラミングを学べる教室を開いたり、高校の部活動に外部講師として参加。これまでに石巻市、仙台市、大崎市、郡山市、滝沢市、河北町、大槌町、周南市、生駒市、横須賀市、酒田市などで計 2000 名以上の子どもたちにプログラミングを教えている。

**開発事業**

WEB サイト/WEB アプリケーションの受託開発、自社サービスの開発運用などを主に行っている。また、他企業様が抱えている業務上の課題をシステム面でサポートしたり、地域のための Web サービスなども手掛けている。主な使用技術：HTML、CSS、JavaScript、TypeScript、Vue.js、SCSS、PHP、Node.js、AWS

**ソーシャル事業**

地域福祉と IT、特に障害を抱えている方向けの Web 制作。またスタッフも障害を抱えており、自身の経験を踏まえ障害者と IT 技術との付き合い方などを講演活動も行う。

所在地は石巻オフィスのほかに横須賀と北海道美唄市など各地へも展開されている。

### 【所見】

本視察で最も印象的だったのは、代表の「地元を何とかしたい」「田舎でも輝けるまちにしたい」という強い当事者意識と、それを端的に示すビジョン「誰だって、どこにいたって、世界一になれるんだ。」が、人と資源を呼び込むちからになっていた点である。

その上で、子どもや若者が①出会い：ITに触れる入口→②学び：継続的な育成→③働く：実務・価値発揮へ進む導線が、自治体連携も含めて丁寧に設計されていた。

学びの入口としては、誰でもアクセスできる環境（デジタル拠点、機材、無料で使える仕組み等）を整え、教育格差を生みにくい思想が明確であった。

また、単発の体験で終わらず、2年目以降も高度化できるカリキュラム、地域課題をテーマにしたプロジェクト化、発表の場を通じて「学んだことが社会でどう役立つか」を可視化している。

運営面では、自治体が人材育成の企画提案等を発注するモデルがありつつ、育った若者が開発部門で実務を担い、そこが収益の柱になっている点が重要である。加えて、「育成→創造→活躍」の循環を回し、地域外の支援・仕事（関係人口・応援者）を意識的にセットする発想が、持続性を高めていた。

さらに、DX推進協議会や自治体ポータルアプリ、住民参加のミニアプリ構想など、「まちづくり＝考える、ためす、つくる」をデジタルで回す姿勢が一貫していた。

矢巾町での展開の可能性としては、まずは3か月・全7回程度の短期講座のような始めやすい設計で“最初の成功体験（ヒーローケース）”を早期に作り、参加者・協力者が増える流れをつくるのが現実的である。その後徐々に体制を整備する。①入口を無料にして安全に確保する（子どもが日常的に触れられる拠点・機会をつくる）、②継続学習と地域課題プロジェクトで“学び”を生活と接続する、③町内の実務（HP、ふるさと納税、業務改善、ミニアプリ等）を題材に“働く”経験へつなげ、地元での就労・起業の選択肢を増やす——という三段階が有効と考える。

その際、自治体側も「担当職員の想い＝推進力」が成否を分けるため、庁内のキーマンを明確化し、教育・産業・DX・健康など複数部局をまたぐ体制（協議会等）でスピード感を担保したい。

財源面では、地域おこし協力隊として職員を派遣してもらうことも可能とのこと。さらに他の「子どもの居場所」関連の補助金や企業版ふるさと納税を教育分野で組み合わせることで、無料で参加できる入口を確保することが可能である。また、移動型デジタル工房（バス）など、拠点整備が難しい場合の代替手段も検討余地がある。

さらに、矢巾町は大学（医大）との連携可能性が高い地域特性がある。歩行などのデータ活用を起点に「健康×IT」をテーマ化し、健康寿命や予防の文脈で町の価値提案につなげれば、教育・産業・健康政策を一体で進められる可能性がある。

文責：高橋敬太

類番号				
保存期限	1・3・5・10・永			

様式第8号(第6条関係)

議長	事務局長	事務局員
廣田 清実	様	

令和8年3月19日

矢巾町議会議長

廣田



会派名 不来方

代表者名 横澤 駿一

報告者氏名 高橋 敬太



調査研究等実施報告書



実施年月日	令和8年1月30日～令和8年3月19日 (アーカイブ視聴期間)
参加者名 (3人)	不来方：横澤駿一、ササキマサヒロ、高橋敬太
目的	自治体財政の本質を知り、責任ある政策議論に備えるため オンライン講座へ参加する(第59回議員の学校 財政危機 を乗り越える)。
行先	オンライン
対応者 又は 主催者	不来方：高橋敬太
概要及び 所見	別紙参照
経費	45,990 円 (内訳は別紙のとおり)

調査研究等経費内訳

(会派名 = 不來方 )

調査研究費					研修費	(いずれかを○で囲む)	
交通費	交通機関名	経路	計	算	計	備考	
			円×	人	円		
			円×	人	円		
			円×	人	円		
			円×	人	円		
			円×	人	円		
	タクシー				円		
	レンタカー				円		
	有料道路料金				円		
	駐車料金				円		
	燃料代				円		
				円			
宿泊料	宿泊日	宿泊先	計	算	計	備考	
			円×	人	円		
			円×	人	円		
			円×	人	円		
研修会登録費	15,000 円× 3 人 = 45,000 円					1-1	
振込手数料	990 円					1-2	

合計	45,990 円
----	----------

備考 領収書等の写しを添付すること。

(任意様式)

項目区分	研修費
整理番号	1-1

領収書その他の書類の添付欄

No. 251226-591024  
発行日 2026年1月31日

領収書

不來方 代表 横澤駿一 様

¥15,000-

但し、第59回「議員の学校」参加費  
2026年1月13日 上記正に領収いたしました

No. 251227-591025  
発行日 2026年1月31日

領収書

不來方 ササキマサヒロ 様

¥15,000-

但し、第59回「議員の学校」参加費  
2026年1月13日 上記正に領収いたしました

No. 251226-591019  
発行日 2026年1月31日

特定非営利活動法人 多摩住民自  
191-0016 東京都日野市神町3-10-5 エス  
TEL042-586-7651 FAX042-514-8096



領収書

不來方 高橋敬太 様

¥15,000-

但し、第59回「議員の学校」参加費  
2026年1月13日 上記正に領収いたしました

確認項目

- あて名欄は、会派名となつ  
(複数会派合同の場合は、
- 但し書きが具体的な記載と...
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

特定非営利活動法人 多摩住民自  
191-0016 東京都日野市神町3-10-5 エス  
TEL042-586-7651 FAX042-514-8096



支払年月日	令和 8 年 1 月 13 日	
他会派との按分 (なし・あり)	(なし・あり)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)		
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	45,000 円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	研修費
整理番号	1-2
領収書その他の書類の添付欄	

預金払戻請求書 による振込受付書 (兼振込手数料受取書)  
 預金口座振替

お振込日 和 暦 年 月 日 (受付日 8 年 1 月 9 日)

当社は、「振込規定」に承諾し、この振込を依頼します。  
 なお、本依頼書を提出後、貴金庫が承諾することにより成立するものとします。

お振込先	みずほ										信 銀 信 農 其 他	支店
											金 行 組 協 他	
お預金種目	1. 普通	2. 当座	3. 定期	4. 貯蓄	5. 零存	6. 零取	7. 定期	8. 貯蓄	9. その他	口座番号	金額	十 億 千 万 百 万 十 万 万 千 百 十 円
	1									1085390	45000	
お受取人	セイメイ										手数料	990
	おなまえ											
お依頼人	セイメイ										おなまえ	
	おところ											

- (ご注意)
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、申会寄のためお振込が遅延または入金できないことがあります。
  - 通信機器・回線の障害など、やむを得ない事由によりお振込が遅延することもありますのでご了承ください。
  - 記載された個人情報は、当該事務手続きのための利用とし、他の目的では利用いたしません。

当金庫をご利用いただきましてありがとうございます。  
 次回もまたご利用いただきますようお願いいたします。

盛岡信用金庫  
 矢巾支店

又松平月日 元利 8 年 1 月 13 日

他会派との按分 (なし・あり)		
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)		
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	990 円	領収書の金額と一致

※ 1 枚につき、1 支出項目分の領収書等を貼付

## 所 見

### 【集中講義①】

タイトル：自治体財政の基本と財政危機の正体

講 師：森 裕之（立命館大学政策科学部）

#### 内 容

- ・ 議会と自治体の役割
- ・ 収支と基金および財政危機
- ・ 地方交付税と留保財源

#### 所 感

住民の福祉向上のためにそれぞれの自治体の価値、大切にすることをしっかりと見定め地域社会の発展のあり方を話し合っって予算配分することが必要。

財政危機を早期に察知するために収支不足や財政調整基金の残額は注視しなくてはならない。歳入を増やすことは大変で時間がかかり、また成果がしっかり出るかは不透明。確実に財政再建をするには事業をやめるしかない。

ふるさと納税分は寄付なので全て留保財源となるために自治体にとってはやはり大きい。

### 【集中講義②】

タイトル：新年度の地方財政計画と自治体予算への影響

講 師：森 裕之（立命館大学政策科学部）

#### 内 容

- ・ 経常収支比率、実質公債比率、将来負担比率
- ・ 地方財政計画

#### 所 感

地方財政計画においてどのようなメニューがあるのかは議員と行政がともに全て把握して自分のまちで活用できるものを精査し対応していくことが大切である。

### 【集中講義③】

タイトル：予算審査をリードする視点・論点・攻めどころ

講 師：森 裕之（立命館大学政策科学部）

#### 内 容

- ・ 予算審査のポイント（収支不足と有利な財政措置のある事業を活用しているのかを確認）

#### 所 感

事業の優先順位および事業内容を毎年確認・見直すことが大切で惰性で事業を継続しないこと。納めた税金がしっかり使われているか確認できるのは議会だけであり、しっかりとそのような気持ちで臨むべきである。そのためには自分のまちがどのように発展していくのかビジョンが重要である。

#### 【集中講義④】

タイトル：社会保障関係予算の動向と、どうなる私たちの暮らし

講師：石川 満（元日本福祉大学教授）

内 容

- ・世界情勢と幸福度の低い日本、国民の生活実態とこれからの日本の社会保障
- ・令和8年度政府予算案とその他（長期金利上昇と債務残高）の影響
- ・令和8年度予算のポイント

所 感

社会保障関係費は今後も増大し続けるなかでどのような予算編成を行うかがポイント。

複数年度で取り組む重要施策としては防衛、こども・子育て、GX、半導体。その一方で地方財政における財源確保として環境性能割廃止、執行状況を踏まえた見直しが地域未来交付金や地域脱炭素推進交付金で実施されるなど地方への交付税を減額されているので、地方も独自の戦略により財源確保および持続的な発展をしなくてはならない。